

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第31回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成28年1月26日(火) 午後3時00分～午後4時50分	場所	木津川市役所第2北別館 2階会議室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長)、 □大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■杉本 美保委員、 ■上野 明信委員、 ■占部 禎佑委員、 ■福本 桂子委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 ■平田 克子委員、 ■久保 恭子委員、 ■山守 和良委員、</p> <p>【事業者】</p> <p>■寺嶋 勤委員※代理：内田 通(西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部大阪支社総務企画課)、 ■森本 治実委員、 ■石川 正也委員 ※代理：米田 佳弘(奈良交通株式会社乗合事業部次長)、 ■津田 秀夫委員、 □近藤 智彦委員、 □伊藤 由夫委員、 ■梅田 幹夫委員 ※代理：小澤 哲式(加茂タクシー株式会社)、 □加藤 隆委員、 □大西 秀樹委員</p> <p>【行政機関】</p> <p>■川合 宏和委員 ※代理：伊藤 徳男(国土交通省近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官)、 ■菅沼 幸江委員 ※代理：南 良和(国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所建設専門官)、 ■湯瀬 敏之委員、 ■木寺 信男委員、 ■巽 英人委員、 □河井 規子委員(会長)、 □田中 達男委員、 ■若狭 朝明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>■北川 健司 ※代理：曾川 高円(国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課専門官)</p>	
事務局	尾崎市長公室次長、廣岡主幹、富井主任		
傍聴者	なし		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス利用状況及び収支状況について【資料1】</p> <p>②市内の公共交通に係る利用促進の取り組みについて【資料2】</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)平成27年度事業評価案について【資料3】</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)平成27年度事業評価案について【資料4】</p> <p>③地域公共交通確保維持改善事業(計画推進事業)平成27年度事業評価案について【資料5】</p> <p>④木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について【資料6】</p>		

	<p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事</p> <p>議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として上野委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス利用状況及び収支状況について</p> <p>「資料1 木津川市コミュニティバス利用実績」に基づき、コミュニティバス利用者数の推移及び収支状況等について、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②市内の公共交通に係る利用促進の取り組みについて</p> <p>「資料2 市内の公共交通に係る利用促進の取り組みについて」に基づき、平成27年度の利用促進の実績及び今後の取り組みについて、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統） 平成27年度事業評価案について</p> <p>「資料3 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統） 平成27年度事業評価案について」に基づき、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）平成27年度事業評価案について、事務局から提案があり承認した。</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統） 平成27年度事業評価案について</p> <p>「資料4 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統） 平成27年度事業評価案について」に基づき、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）平成27年度事業評価案について、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>③地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業） 平成27年度事業評価案について</p> <p>「資料5 地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業） 平成27年度事業評価案について」を用いて、地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業）平成27年度事業評価案について、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>④鉄道・バスのダイヤ改正について</p> <p>「資料6 鉄道・バスのダイヤ改正について」を用いて、木津川市コミュニティバスのダイヤ改正及び時刻表作成について、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について</p> <p>後日文書で通知することとした。</p>

	<p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバス利用状況及び収支状況について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答) ○全体的にバスの利用者が減少している原因について、どのように分析しているのか。 ●外出頻度の減少によるものと分析している。 ○市の実質負担額が多額になっている。利用者を増加させるためにどうするべきか考えているのか。 ●利用者が減少することで、市の負担が増えることについては、問題視している。収支率を50%にすることを目標としており、必要な施策を実施したい。 ○きのつバス(木-3)は、雨が降るとバスが満員になり、利用できない場合がある。 ●利用していただけないのは問題であり、多くの方が利用いただけるよう運行事業者と調整したい。 ○雨の場合のみ増便するのは、困難であると思うが、多くの方が乗車できるよう、譲り合ってもらおう等、利用者にも協力してほしい。 ○きのつバス(木-3)は、通勤通学の時間帯に便数を増やすと利用者が増えると思われる。また、木津川台から、精華町方面に行く方への方策も考えてほしい。 ○デマンド路線は他の路線と比較して、利用者数が激減している。デマンド路線に対する市の見解は。 ●加茂地域の一部路線は、平成25年10月から予約型に運行変更したもの。予約が煩わしいことが、原因の一つであると認識している。予約時間については、「2時間前まで」から「30分前まで」に変更したが、利用者は減少し続けている状況である。 ○デマンド運行の継続については、どのように考えているのか。 ●コミュニティバスでは、1便当り1.25人以上の利用を定時定路線の運行継続条件としており、加茂地域の路線については、基準に満たなかったためデマンド路線に運行を変更したものである。 ○加茂地域でデマンド運行に変更したことで、利用者が減少したことについて、市の責任をどのように考えているのか。 ●全体として利用者が減っていることについては、利用促進施策を強化する必要があると考えている。 ○公共交通だよりでは、公共交通のあるべき姿として「公共交通を便利にして悪循環を好循環にするべき」と記載されている。今後、より便利なバスに変える必要があるのではないか。</p>

- 行政ができることには限界があり、利用者の方や地域の方にも努力していただく部分があるのではないかと。
- 努力するのは利用者ではなく、市が利用しやすい公共交通を検討するのが第一である。
- かもバスについては、定時定路線で運行していた時に運行本数の増便やダイヤ改正等、大きく利便性の向上を図ったが、利用者は増えない状況であったため、さらに、定時定路線による運行継続の基準を設けることで利用促進を図った。それでも、利用者が増えず、現在の運行形態に変更した経緯がある。
また、デマンド運行に変更したことで、運行経費は削減できており、財政面での効果はあったと考える。今後、少しでも利用者が増える方向に地域の方にも協力いただきながら進めていきたい。
- これまで、公共交通は利用者の減少が当たり前であったが、5年ほど前から、効果的な施策を実施することで、利用者が増えている自治体が多い。今後、利用者が増える可能性は十分にあるので、さらに努力いただきたい。
- 採算性を考えると路線が維持できない地域を、行政がどうやって関わっていくのか難しいところである。そのなかで、市民、事業者、行政が良い関係を持って進めることが大切である。本協議会のなかでも良いアイデアを出していただきたい。

②市内の公共交通に係る利用促進の取り組みについて

【配布資料】資料2 平成26年度歳入歳出決算について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

- 利用分析が一番必要なのは、かもバスのデマンド路線である。例えば南加茂台線は、奈良交通のバスと重複している区間があり、1日フリー乗車券を奈良交通のバスでも使えるようにする必要がある。市民が利用しやすいバスにする必要があるが、アンケートやワークショップでの意見を基に改善を図ったものはあるのか。
- 1日フリー乗車券は、山城地域のワークショップでの意見を参考に導入したものである。
- 南加茂台には、1日フリー乗車券の販売所がない。販売所を設置してほしい。
- 例えば、奈良交通の路線バスも含めて1日フリー乗車券を使えるようにする等の施策が必要である。また、運転免許返納者への対策を考えてほしい。
- 南加茂台の販売所については、木津川市社会福祉協議会の加茂支所で販売いただいているが、販路を拡大したいと考えており、情報提供を頂きたい。1人でも多くの方の移手段を確保するためコミュニティバスを運行しているが、利用されない方の意見も重視する必要がある、運行を継続するためには一定の負担をお願いしたい。また、運転免許の返納者への対策として、1日フリー乗車券の配布を検討している。
- 路線と運行時間帯は、ニーズと合っていない部分がある。合併前からのダイヤが踏襲されたままになっているように思う。例えば、きのつバスは朝9時から夕方6時までしか運行しておらず、不便を感じている。かもバスのデマンド路線は、予約の手間が発生することで、利用を阻害しているのではないかと。運行ルートやダイヤを大胆に見直してはどうか。
- 運行時間帯については、運行事業者との役割分担があると考えている。今後、利

用分析を強化しダイヤ、路線の研究をしていきたい。

- 高齢者に対するサービスについて、例えば65歳以上の利用者の場合、往復で300円にするなどの対応はできないのか。
- 今後、研究していきたい。
- 乗り物体験学習の実施は高の原小学校のみか。
- 今年度は、相楽小学校、相楽台小学校において実施した。小学生からは、バスに乗って楽しかった。またバスに乗りたいとの感想があり、一定の利用促進は図れている。
- 1日フリー乗車券は、バス車内でも販売しているのか。
- バス車内でも販売しているが、安全上の観点から、5枚綴りのみとしている。
- 例えばデマンド路線の運行車両では運行に支障はないと思われるため、1枚からでも販売できるよう調整してほしい。

(2) 協議事項

- ①地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統） 平成27年度事業評価案について
- ②地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統） 平成27年度事業評価案について
- ③地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業） 平成27年度事業評価案について

【配布資料】 資料3 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統） 平成27年度事業評価案について

資料4 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統） 平成27年度事業評価案について

資料5 地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業） 平成27年度事業評価案について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答）

- 時刻表は、鉄道ダイヤの記載時間帯を増やしているなど、便利なものとなっていると感じている。また、鉄道のダイヤを掲載することで、コミュニティバスの宣伝もできている。今後、広告を掲載して掲載料を頂くことも考えてはどうか。また、持ち運びしやすいサイズに変更してはどうか。さらに、市内の観光スポットも掲載してはどうか。
- 紙面に限りがあるなかで、より良い掲載方法を考えたい。特に、広告掲載について来年度に向けて検討していきたい。
- 公共交通だよりには、沿線観光情報も載せていただいている。多くの方に公共交通だよりを読んでいただき、バスを利用して観光施設に足を運んでほしい。
- 市のホームページには、観光情報などを掲載しているのか。
- 公共交通だよりとして、掲載している。
- 事業評価票に記載誤りと思われる部分があるが、記載は正しいのか。
- 記載誤りであり、訂正をお願いする。

	<p>④鉄道・バスのダイヤ改正についてについて</p> <p>【配布資料】資料6 鉄道・バスのダイヤ改正について</p> <p>【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)</p> <p>○時刻表は、ホームページから印刷できるのか。</p> <p>●ホームページにダイヤは掲載しているが、時刻表としては掲載していないため、印刷はできない。</p> <p>○かもバス南加茂台線について、午前の便を増やしていただきたい。</p> <p>●南加茂台線を含めて、今後、全体的に検討していきたい。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について 改めて通知させていただく。</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
<p>その 他 特記事項</p>	<p>なし。</p>